

# Youth Center News

広島市青少年センターだより

発行：(公財)広島市文化財団  
広島市青少年センター  
広島市中区基町5番61号  
<http://www.y-center.jp/>



令和4年12月15日発行

12/1月の休館日 毎週火曜日(12/6,13,20,27,1/3,10,17,24,31) 祝日の翌日(1/11) 年末年始(12/29-1/3)

## 講座・イベント情報

無料

### 基町写真展 2022 巡回展

時代の流れとともに大きく変化してきた基町地区の過去を振り返ってみませんか。

- 日時 12/3(土)~1/12(木)
- 場所 青少年センターロビー

### ロビー劇場

毎奇数月第2土曜日に開催している若きアーティストによるフリーライブです。

- 日時 1/14(土) 開場 17:30、開演 18:00
- 場所 青少年センター1階ロビー

### オンラインこねら Café~ともだちネット~ ふわとろ♥~「時短!フォンダンショコラ」

Zoomを使ったワークショップを行います。

- 日時 2/4(土)14:00~16:00 入室 13:30~
- 場所 ご自宅
- 参加費 無料
- 定員 5人(先着) 小学生は保護者同伴。見学のみOK
- 申込み ①1/30(月)まで  
②青少年センターから招待メールと、用意していただく材料などの説明書を送ります。

### 劇作家のための第八回中国ブロック劇王決定戦

観客と審査員の投票でナンバーワンを決めるコンペティション。

- 日時 1/29(日) 予選Aブロック 10:00~  
予選Bブロック 14:00~  
決勝戦 18:00~

- チケット 1,800円(当日2,000円)  
高校生以下500円

#### CoRich チケット予約フォーム

<https://ticket.corich.jp/apply/197738/>

#### メール予約

gekioh.chuugoku@gmail.com  
件名「チケット予約」として券種(一般・高校生以下)  
鑑賞ブロック・枚数・お名前(ふりがな)・電話番号を  
お知らせください。



予約フォーム

演劇

### 次世代のための食育プロジェクト

みその力を子どもに伝える企画運営スタッフを募集します

- 日時 ①1/14(土)10:00~14:00  
②2/11(土)10:00~14:00  
③2/18(土)13:00~15:00 ※準備状況により時間変更あり  
④2/19(日)9:30~15:30

- 内容 ①でみそ作り方をプロから学び、④では小学生にみそづくりを教えます。
- 場所 青少年センター
- 対象 18~25歳(高校生のぞく)8名(抽選)。
- 参加費 1,200円
- 申込み 1/4(水)までに。



### 台所の主みそマイスターになろう!

お兄さんお姉さんに教わりながら、みそ作りとみそを使った料理にチャレンジ!

- 日時 2/19(日)10:30~14:30
- 場所 青少年センター生活実習室
- 対象 小学生8名(抽選)
- 参加費 1,000円(もち帰り用みそ1キロとおひるごはん)
- 持参物 エプロン、三角巾、ふきん・台ふき(1枚ずつ)
- 申込み 1/12(木)までに。  
※食品アレルギーについては対応しておりません。



食育

### = 講座・イベント申し込み方法 =

電話、FAX、E-mail で氏名、年齢、電話番号を添えて青少年センターにお申し込みください。参加費は事業の初回にお持ちください。

TEL/082-228-0447 FAX/082-228-7074

E-mail/y-center@cf.city.hiroshima.jp

※申し込みの際にお知らせいただいた氏名、年齢、連絡先等の個人情報は、当人の許可なく事業以外の目的では使用しません。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、催しなどが中止となる可能性があります。その際は申込者に直接ご連絡します。

= お得な情報をいち早く。 =

○公式 LINE



○公式 Facebook



○公式 Twitter



### ○広島修道大学より社会教育実習生を受け入れました。

8/13(土)-11/28(月) 10日間

私は10日間の実習を通して、青少年センターが利用者の方々に、長年に渡って愛されている理由を理解しました。それは職員が利用者の成長を願う、暖かいまなざしと、頑張る若者の背中を押せるようにサポートされていたからです。

実習期間中に、私は自ら青少年センターの主催事業として「青年教室キャリアアップセミナー キラリ発見!~自分史ワーク~」の企画・実施をしました。ただ最初の企画の際に、「将来のことで悩んでいる多くの高校生に学んで欲しい。」とは考えたものの、具体的な実施方法について悩んだ時があります。その時、職員の方から、参加対象者が「参加してみたい!」と思う事業計画にするために、必要な準備物からチラシ作成まで、熱心にアドバイスを頂き、企画から実施までの事業の運営の仕方までを学び、事業を実施することができました。

私は、職員の方が常に参加者目線に立った姿勢を大切にすることで、多種多様な利用者が「また利用したい!」と思う、青少年センターとして在り続けているのだと感じました。

青少年センターが、次世代の青少年にも知ってもらい、これからも長く利用していただけるよう、今度は私も利用者として青少年センターを利用しながら、今後も積極的に関わってまいります。



広島修道大学 社会教育実習生 吉中修人

### 次回の「交流スペースすきっぷ♪はうす」は1/21(土)です。

毎月第3土曜日のすきっぷ♪はうすでは、読書会を行っています。その中で紹介された本の中から、至極の1冊をチョイス!



### 今月のすきっぷ♪はうすのおすすめ本

タイトル:『クッキングパパ』1巻から163巻(現在も刊行中)  
刊行年月:1986年1月(1巻)、出版社:講談社モーニングKC

主人公荒岩一味は、福岡県在住のサラリーマン。仕事はできるけど見た目はデカくて、ゴツくて、近寄りたげな相手で例えるならゴリラ(笑)。でも家に帰ると買い物へ最寄りの市場へ行き、朝昼晩全ての食事を作り、洗濯、掃除等、家事全般をそつなくこなすスーパーパパ!

そんな荒岩の作る料理は、家族である虹子さん、息子のまこと、娘のみゆきはもちろろん、職場の同僚、部下、上司からそれぞれの家族等の胃袋を掴みます。さらに彼の料理は美味しいのは当たり前ですが、幸せの連鎖で、国境をも超え、人と人との心をつなぐアイテムの一つなんだと感じます。

美味しそうな料理の数々はもちろん、登場人物たちの食べっぷりもあつぱれです。巻数を重ねて読み勧めていくことで、荒岩一家の成長や荒岩自身の変化も織り込まれていて、まるでわたし自身が、荒岩の知り合いや部下の気分を読んでみることもあります。

わたし、もふもふがコミックの面白さ、楽しさを教えてもらうきっかけとなった1冊です。

(今月のおすすめ人:もふもふ)